



「旧大山保育園舎」利活用について

旧大山保育園舎（大山ファミリーの郷）の利活用について、多くの皆様からのご意見・ご提案を募り、検討委員会において検討を行ってまいりました。その結果の報告を致します。

株NADJA(濱口雄太さん)からの利活用提案

名称：デジタルを用いた地域活性化センター

(目的) デジタル人材の育成・地元企業の生産性向上・地元の雇用創出

各部屋の利用用途



部屋番号	利用用途	
① ②	喫茶店の開設	コミュニティカフェを押し出すことによる気軽なカフェと丹波特産品を使用した軽食を販売する。
②	SDGs 研究室	健康食ブーム+食糧危機 丹波黒豆大豆ミート、ジビエ料理研究、昆虫食料理研究を行う。
④	パソコン・インターネット学習の場	「プログラミング教室」・プログラムの作成
⑥	ワーキングスペース	スタートアップスタジオ 豊富な人脈を活用し、新規事業の立ち上げを支援及びシステム開発の研修やサポートも行う。 「インターネット駆け込み寺」・インターネットに関するお困りごとを解決

agarito(泉 温子さん)からの利活用提案

名称：洋裁教室の開設及び布を用いたワークショップの開催

各部屋の利用用途



部屋番号	利用用途	
⑤	洋裁教室の開設	大人コース…週1回/2時間 ブラウス、簡単なスカート、など 子どもコース…月1回/2時間 巾着、トートバッグ、簡単なスカートなど
	ワークショップの開催	不定期で作品の発表展示や、講師を招いてのワークショップを開催

旧大山保育園舎(大山ファミリーの郷) 部屋配置図



旧大山保育園舎（大山ファミリーの郷）の利活用について、提案を頂いた内容について審査をいたしました結果、当施設を利活用して頂くこととなりましたので報告します。

郷土史講座「大山を学ぶ」開催



現在の私たちの暮らしは、これまでの大山の歴史の上に成り立っています。これからさらに豊かな大山の地域をつかっていくためには、歴史の文脈と地域の強みを知りそれを伸ばしていくことが大切です。これまで大きな功績を残してこられた大山昔ばなしの会が活動を停止されることとなりましたが、大山の歴史と強みとなる資源を次世代に継承、発展していかなければなりません。

このため、ひろく地域住民が地域の歴史を学ぶ機会をつくり、豊かな地域づくりにつなげることを目的とし、郷土史講座「大山を学ぶ」を開催しています。

第1回「丹波篠山の歴史と大山」

第1回は、令和4年7月24日（日）大山緑の会館に於いて開催され、18名の方に参加していただきました。

第1部は、丹波篠山市教育委員会市史編さん係係長、成田雅敏氏による「丹波篠山市史編纂事業について」でした。丹波篠山市史編さん事業の背景と目的、調査の内容等を詳しく教えていただきました。

第2部は、神戸大学特命助教、松本充弘氏による「丹波篠山の歴史と大山 豪農園田家と地域社会」でした。前半は丹南町史編纂史料について、内容と史料形態の特徴等を教えていただき、後半は史料を参考に豪農園田家と地域社会について分かりやすく教えていただきました。

地域の歴史文化を伝えていく大切さを学ぶことができ、大山地区に対する愛着も深まりました。ありがとうございました。

第2回「化石の産地篠山層群って何？」

第2回は、令和4年8月28日（日）大山緑の会館に於いて開催され、12名の方に参加していただきました。

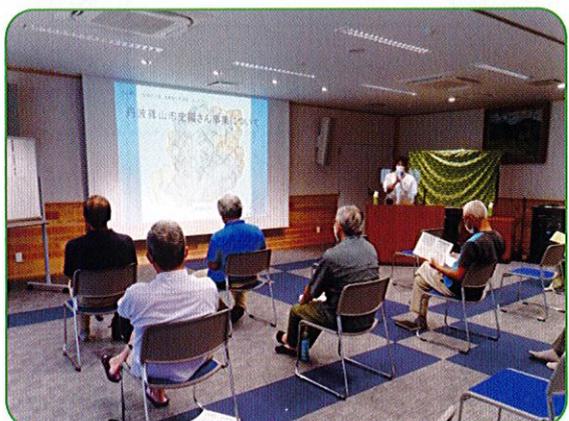
「化石の産地 篠山層群って何？」という題名で、丹波篠山市立太古の生きもの館、化石保護技術員の奥岸明彦氏による講座でした。篠山層群が非常に希少な地層で、世界的に見ても貴重な化石がどんどん発見されていることを知ることが出来ました。丹波竜と呼ばれている「タンバティタニス・アミキティアエ」の名前の由来や、日本最古級の哺乳類「ササヤマミロス・カワイイ」の名前の由来など、大変楽しく、化石発掘体験に参加したくなりました。ありがとうございました。

第3回「大山には古墳がいっぱい」は中止となりました

第3回は、9月下旬を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止させていただきました。第4回は11月27日（日）13時30分より、「日本一の史料が残る大山 大山荘と東寺百合文書」という題名で、元丹波の森協会常務理事の芦田氏による講座を予定していますので宜しくお願いします。会場は大山緑の会館大会議室です。詳しくは別途受講募集ちらしをご覧ください。



第1回丹波篠山市史編纂事業について



第1回丹波篠山市と大山 豪農園田家と地域社会



第2回化石の産地篠山層群って何？